



連絡会ニュース

江東ボランティア連絡会 Tel. 03-3645-4087 (江東ボランティア・センター内)

Koto Volunteer Association Newsletter



インターネットでコロナを乗り越えよう！



昨年12月の定例会では研修部主催でZoomアプリを使うための講習会を行いました。講師は前会長の伊藤さんです。まずはスマホにZoomアプリを入れて…。皆さん、スマホ片手に操作に真剣です。

始める前に必要なこと

- ①パソコンやタブレット、スマホなどを準備
- ②Zoomアプリのダウンロード
iPhone…App Storeから
Android…Google Playストアから

Zoom公式サイトからダウンロード
<https://zoom.us>

Q. アカウントは作らないとダメ？

A.ホスト（会議の主催者）になるときは、アカウントが必要です。
しかし、主催者から招待を受けて参加する場合は、アカウントは不要です。
アプリをダウンロードして、インストールするだけで、Zoom会議に参加できます。

Q. Zoom会議に参加するには？

A.ホストは参加者に招待メールを出しています。
メールの中に、以下の内容があります。

Zoomミーティングに参加する

<https://...>

ミーティングID: ××× ×××× ××××

パスコード: ××××××

記載してあるURLをクリックすると、自動でZoomアプリが起動します。立ち上がっている画面にミーティングIDやパスコードを入力すると参加できます。設定によってはIDやパスコードの入力無しで参加できます。

オンライン
会議

Zoomで
飲み会

会えない
家族との触れ合い

Zoomを使うと、コロナであきらめていた交流の可能性が広がります。
江東ボランティア連絡会では、会員の皆さまがZoomを使えるよう、出前講習なども考えています。まずはお気軽にご相談ください。

災害発生！ 誰も取り残さないためにやれることとは？

1月29日、ボランティア・センターで災害時対応のワークショップが開催されました。感染防止のため、急遽、Zoomでの対応となり、江東ボランティア連絡会からは2名参加しました。

右のイラストにはある特徴があります。それは災害時に助けが必要な「要支援者」ということ。イラストにはないですが、ほかにも外国籍の方や、見た目だけでは要支援者とわからない障がいがある方もいます。大災害が起きた時、誰も取り残さないためにどうしたらよいのでしょうか？



例えば、水害からの避難所生活…

- 目が見えない、耳が聞こえないと？
- 車いすだったら？
- 障がい者自身はどんな思い？

ワークショップでは、避難所生活での要支援者サポートをクロスロードで取り組みました。

ボランティア・センターより

今回の企画の目的を職員の成海さんにお伺いしました。

- ①「普段、災害ボランティア活動を主としていない団体」における災害ボランティア活動への啓発
- ②平時における団体間のつながりの構築

これらを前提に、障がい者と同じ立場になり、災害ボランティアとしてどんなお手伝いができるか、一緒に考えるのが目的です。

誰も取り残さないためには、普段からの準備やつながりが大切です。地域の共助力アップのために、ボランティア・センターは皆さんと共に様々な課題を共有していきたいと考えています。



参加者の声

障がいを持つ当事者の実際のお話を聞くことができ、一つのきっかけ作りになったと思います。

連絡会の Facebookはコチラから

連絡会FacebookのQRコード



携帯用



パソコン用

江東ことこみゅネットにも掲載しています。



携帯用



パソコン用